



障害者差別解消法が施行されます

問い合わせ 福祉課 ☎72-8214

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が4月1日から施行されます。この法律は、全ての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いの人格と個性を尊重し合いながら共生する社会をつくることを目的としています。

県内では、23年度から県条例において障がいのある人に対する不利益な取り扱いが禁止されており、同法の求める合理的な配慮への取り組みが進められています。

障害者差別解消法とは…

国の行政機関や県や市などの地方公共団体および民間事業者による「障がいを理由とする不当な差別的取り扱い」が禁止されます。また、障がいのある人から何らかの配慮を求める意思表示があった場合は、負担になり過ぎない範囲で「社会的障壁」を取り除くための「合理的な配慮」をすることが求められます。

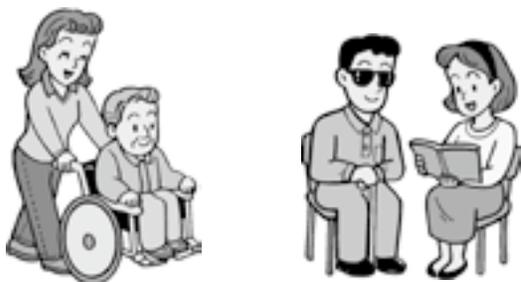
対象	不当な差別的取り扱い	合理的配慮の提供
国の行政機関・地方公共団体	✕ 禁止	○ 配慮を行わなければならない
会社やお店などの民間事業者		○ 配慮を行うよう努めなければならない

障がいを理由とする不当な差別的取り扱いとは？

正当な理由もなく、障がいがあるということだけを理由にサービスなどの提供を拒否したり、制限したりすることなど。ただし、他に方法がない場合などは不当な差別的取り扱いにならないこともあります。

【具体的な例】

- ・ 車いすを利用していることを理由に入店を断る
- ・ 障がいがあることを理由にアパートの賃貸借契約を結ばない



合理的な配慮の提供とは？

社会的障壁を取り除くために必要な合理的な配慮。

【具体的な例】

- ・ 車いすを利用している人が乗り物に乗るときや段差を越えるときに手助けをする
- ・ 聴覚障がいのある人に筆談で対応する
- ・ 視覚障がいのある人に書類の読み上げで対応する
- ・ 難しい漢字に振り仮名を付けたり、わかりやすい表現に改める

社会的障壁とは？

障がいのある人にとって、日常生活や社会生活を送るうえで障壁(バリア)となるもの。

【具体的な例】

- ・ 通行や利用がしにくい施設や設備
- ・ 障がいのある人を意識していない制度や慣習
- ・ 障がいのある人への偏見

北上市の
障がい者数

5,348人

北上市の
人口

93,524人

※27年3月31日現在

障がいは、生まれつきや特別な人の話…ではありません。高齢化やストレス社会が問題となっている近年においては、病氣やけがによる障がい者が年々増加しており、決して他人事ではありません。一人一人が自然な思いやりと優しさを持って、障がいの有無に関わらず誰もが暮らしやすい社会を作っていきましょう。





百歳

これからもお元気で

市は、1月に満百歳を迎えた4人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。



祝い状を手にする時雄さん(中央)

高橋時雄さん(相去町)は大正5年1月8日生まれ。26歳で良さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫18人、やしゃご2人に恵まれています。酒もタバコもせず真面目で働くことが好きだった時雄さん。北上市農協を定年退職後、73歳まで市内の病院に勤務しました。孫との時間が好きで、最近の楽しみは家族団らの時間だそうです。



家族に囲まれ祝福を受けるキヨシさん(中央右)

簡キヨシさん(鬼柳町)は大正5年1月1日生まれ。16歳で故伝蔵さんと結婚し、子2人、孫3人、ひ孫5人に恵まれています。「働かないとご飯がおいしくない」と話すほど働き者というキヨシさん。介護認定も受けておらず、天気の良い日は畑の草取りをしています。最近の楽しみは「相撲などをテレビで見ること」と話していました。



家族に囲まれ祝福を受けるハルさん(中央右)

齋藤ハルさん(若宮町)は大正5年1月21日生まれ。21歳で故忠志さんと結婚し、子4人、孫7人、ひ孫に恵まれています。温厚で頑張り屋のハルさん。明治23年から続く旅館に嫁ぎ、昭和55年に廃業するまでの43年間旅館業を営みました。長男の眞臣さん(71歳・若宮町)は「これからも長生きしてほしい」と祝福していました。



祝い状を手にするチヨノさん(中央左)

菅野チヨノさん(口内町)は大正5年1月22日生まれ。18歳で故貞實さんと結婚し、子4人、孫10人、ひ孫15人に恵まれています。優しくて明るく社交的なチヨノさんは歌を歌うことが大好き。デイサービス先で行われたお祝い会では、元気に祝謡「めでた」を披露しました。100歳を迎え「皆さんのおかげです」と感謝していました。